


堀越千秋 壁画制作

福岡市天神 「フェスタフェスタ」

シティ情報ふくおか no.500



fiesta fiesta  
店を彩る  
看板たち  
は天の一部。

### アート見聞録

## ひよこが行く!!

**訪問先**  
**フェスタ フェスタ**  
 〒732-5633  
 ●話を聞いた人  
 画廊香月スタッフ  
 森田俊一郎さん

**●高田びよこ**  
 びよこにとって、絵は日常に眩しい刺激を与える非日常という思いが強い。それでいつの間にか頭が固くなってきてた。いかにいかに。

### アグレッシブな一筆の線が街の中にエネルギーを放つ

親不孝通りの近くにある「フェスタフェスタ」という洋風居酒屋さん。その外壁や看板に描かれた、鮮烈な筆描きの絵が目を引く。気付いた人がいるかな？これはスペイン在住の堀越千秋さんが、その場でライブで!!描いたものなのだ。実はびよこ、堀越さんが制作中の時に驚喜して見に行った。すると堀越さんはアルバートの学生たちと一緒に、気持ちいい笑顔で描いていた。1週間後にはオープンと期間が限られているうえに、ペンキを使うの制作は初めてのこと。「絵画は反省や努力から生まれず、遊びと似て、楽しくやらなければならぬ」。

堀越さんの言葉(画廊香月の森田さんに聞いたのだけど)は本人の生き方そのものだ。キャンパスに描くことも画廊に展覧することも限定せず、日常も非日常もすべてを受け止める。生きることを楽しむ姿勢、そんな堀越さんの大らかさにハッとさせられる。見慣れた街並みの中に、少しずつでも生きたアートが浸透していくのは素敵だ。知らない内に何気なく過ごす場所が実は芸術に溢れた空間。そんな場所が増えていったらいいなア。ちなみに、店内1階の奥にある広いフロアの壁やお手洗いにもチャリと堀越さんの絵が見れるんだよ。

ラフスケッチ

